



DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「ゴールデンウィーク期間中の渋滞発生回数」と「い草の収穫量」です。



ゴールデンウィーク期間中の渋滞発生回数

検索 



い草の収穫量

検索 



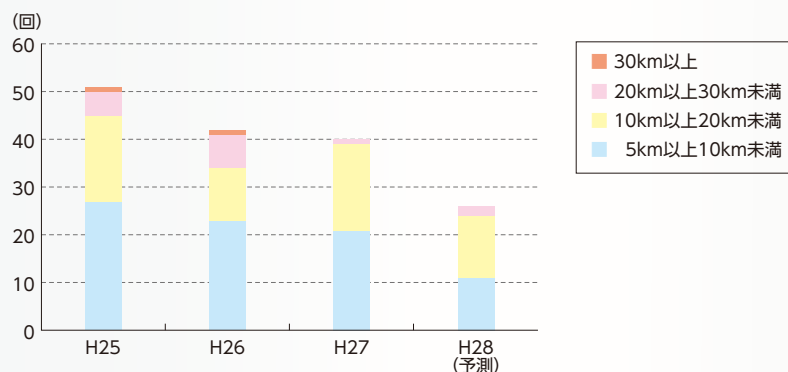


ゴールデンウィーク期間中の渋滞発生回数

九州ではゴールデンウィーク中の高速道路の渋滞発生回数が徐々に減少している様です。

平成25年は、5km以上の渋滞が51回、30km以上の渋滞が1回発生しました。一方、平成27年は5km以上の渋滞が40回、30km以上の渋滞は1度も発生しませんでした。天候の影響や人口減少に伴うドライバーの減少等、不可避な要因も考えられますが、渋滞の発生箇所や時間帯毎の渋滞の長さ、ピークとなる時刻等、渋滞予測情報の提供によって交通集中の自発的回避を促す交通需要マネジメントが奏功しているとも考えられます。

ゴールデンウィーク期間中の渋滞長別発生回数(上り・下り計)



※各年の対象期間は以下のとおり

H23(平成23年):平成23年4月27日(水)～5月6日(金)の10日間

H24(平成24年):平成24年4月26日(木)～5月6日(日)の11日間

H25(平成25年):平成25年4月25日(木)～5月6日(月・振替休日)の12日間

H26(平成26年):平成26年4月25日(金)～5月6日(火・振替休日)の12日間

H27(平成27年):平成27年4月28日(火)～5月8日(金)の11日間

H28(平成28年)(予測):平成28年4月28日(木)～5月8日(日)の11日間

※※事故や故障車等の影響を含む。

(出所:「NEXCO西日本九州支社管内のゴールデンウィーク期間における高速道路の交通状況(速報)」[NEXCO西日本九州支社管内のゴールデンウィーク期間における高速道路の渋滞予測]を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)



い草の収穫量

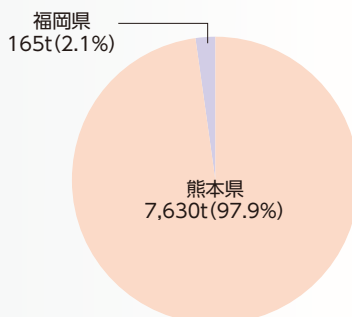
「畳表」や「ござ」の材料となるい草の収穫量を都道府県(主産県)別に見てみると、熊本県が全国1位で約98%を占めています。

熊本県におけるい草栽培の歴史は古く、1505年に旧八代郡(現在の八代市)の城主が領民にい草栽培を命じ、特別な保護のもとに奨励したのが始まりといわれています。その後、熊本県南部の八代地方を中心に収穫量が増加し、い草栽培は地場産業として定着。日本一の生産高を誇るまでに成長しました。い草には、空気の浄化作用がある他、保温・断熱性にも優れるなど、さまざまな機能があります。

今年、「くまもと県産い草」と「くまもと県産い草畳表」は農林水産省の「地理的表示保護制度(GI)」(※)に登録されるなど、熊本県産い草のブランド化が進んでいます。

(※)地理的表示保護制度(GI)・・・長年培われた特別な生産方法や気候・風土・土壌などの生産地の特性により、高い品質と評価を獲得するに至った商品の名称を知的財産として保護する制度

い草の収穫量



(出所:農林水産省「平成27年特定作物統計調査」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 底堅く推移している

福岡県の景気は、底堅く推移しています。

ビール等が増産となった食料品・たばこが上昇する等、生産活動は底堅く推移しており、個人消費についても、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。また公共工事が8ヵ月連続で前年を下回った一方で、住宅建設は前年を大きく上回りました。

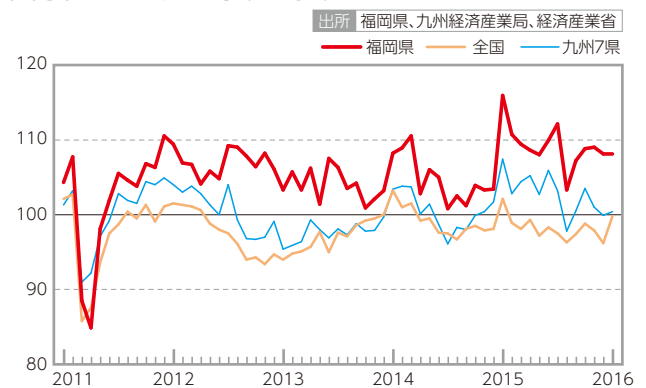
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は108.1と前月比横ばいとなりました。

主要業種では、トランジスタ等の生産が減少した電子部品・デバイスは低下したものの、ビール等が増産となった食料品・たばこが上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

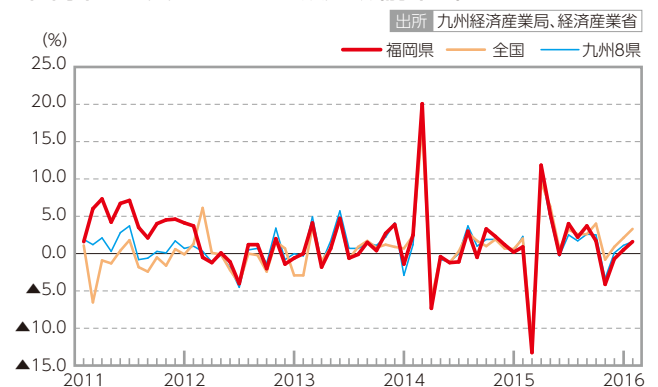


2.個人消費 | 底堅く推移している

2月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.6%増の501億円となりました。

気温の変化が大きかったために衣料品の動きが鈍かったものの、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■福岡県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



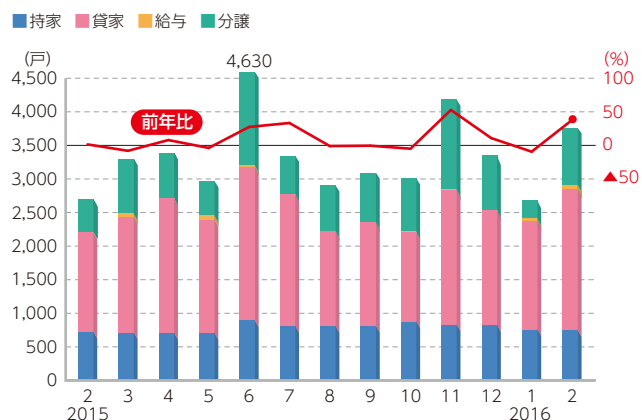
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

2月の新設住宅着工戸数は、前年同月比39.5%増の3,820戸となりました。

「持家」「貸家」「給与」「分譲」の全てで前年を上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



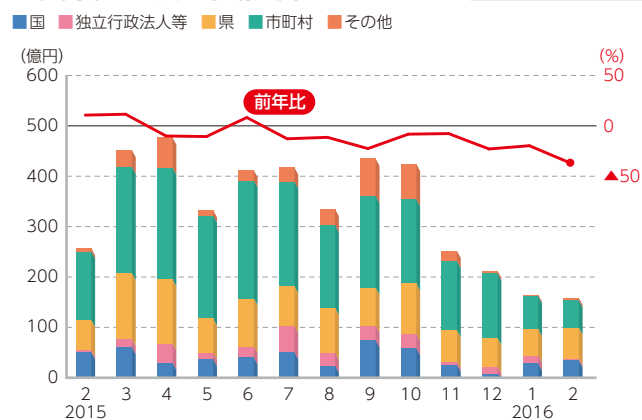
4.公共工事 | 8ヵ月連続で前年を下回る

2月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比20.9%増の446件、金額が同38.3%減の161億円となりました。

全体的に大型案件に乏しく、「国」「市町村」「その他公共的団体」が前年を下回りました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに前年を下回る

3月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比10.7%減の25件、負債総額は同43.8%減の約35億円となりました。

清酒製造業で約7億円、和菓子製造業で約5億円の倒産が発生しましたが、負債総額は前年を下回りました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 底堅く推移しているが熊本地震の影響が懸念される

熊本県の景気は、底堅く推移していますが、4月に発生した熊本地震の影響が懸念されます。

集積回路が増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、生産活動は持ち直しの動きがみられ、個人消費についても、飲食料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。また公共工事が4ヵ月ぶりに前年を下回った一方で、住宅建設は前年を大きく上回りました。

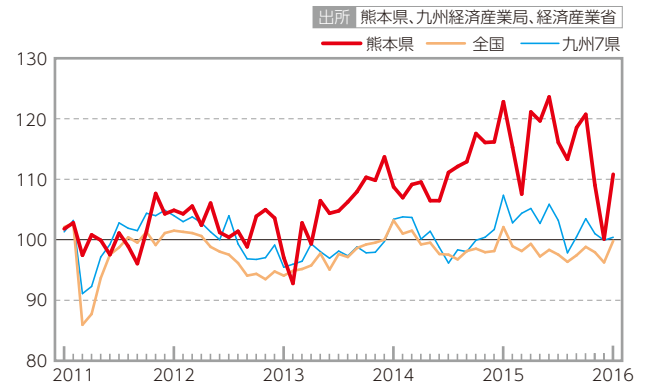
(諸限 あきこ)

1.生産活動 | 持ち直しの動きがみられる

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は110.9と前月比10.8%上昇しました。

主要業種では、集積回路が増産となった電子部品・デバイスや、開閉制御装置の生産が増加した電気機械が上昇する等、生産は持ち直しの動きがみられます。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

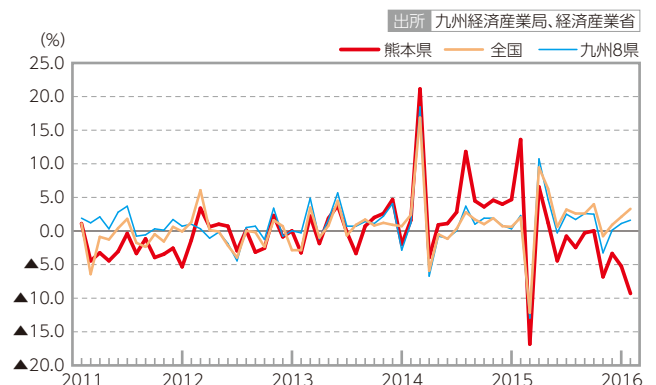


2.個人消費 | 底堅く推移している

2月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比9.4%減の113億円となりました。

百貨店閉店セールにより大幅増となっていた前年と比べると減少しましたが、主力の飲食料品は前年を上回っており、また既存店ベースでは5.8%増となる等、個人消費は底堅く推移しています。

■熊本県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



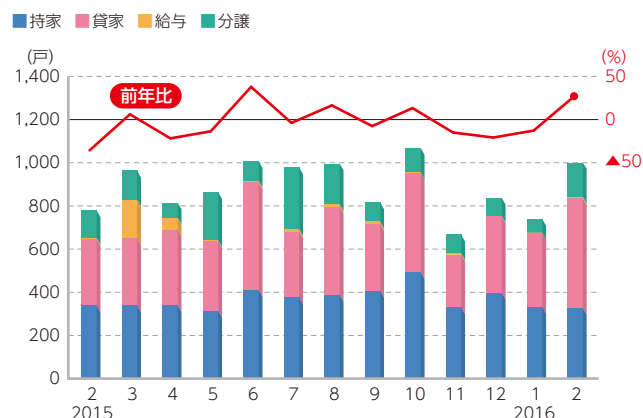
3.住宅建設 | 4ヵ月ぶりに前年を上回る

2月の新設住宅着工戸数は、前年同月比28.3%増の1,007戸となりました。

「持家」が前年を下回ったものの、「貸家」「分譲」が前年を上回り、全体でも4ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



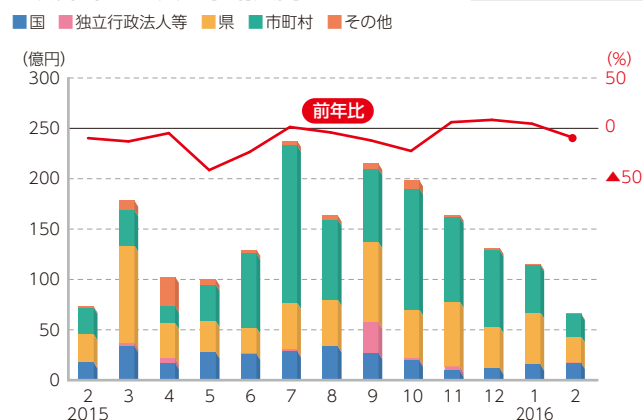
4.公共工事 | 4ヵ月ぶりに前年を下回る

2月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比53.4%増の316件、金額が同9.4%減の67億円となりました。

全体的に大型案件に乏しく、全ての発注者で前年を下回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



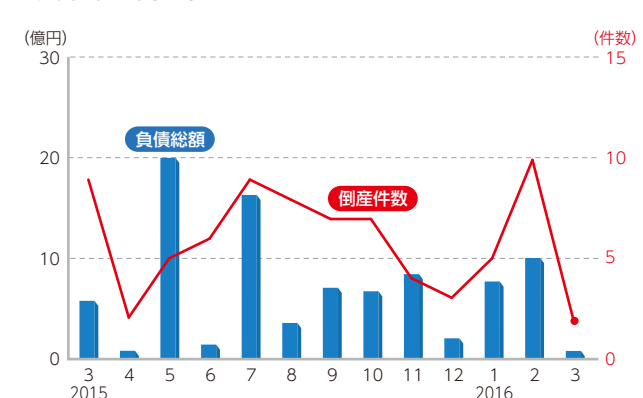
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

3月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比77.8%減の2件、負債総額は同86.3%減の8千万円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 底堅く推移している

長崎県の景気は、底堅く推移しています。

住宅建設、公共工事が前年を下回った一方で、半導体集積回路が増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、生産活動は底堅く推移しており、個人消費についても、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。

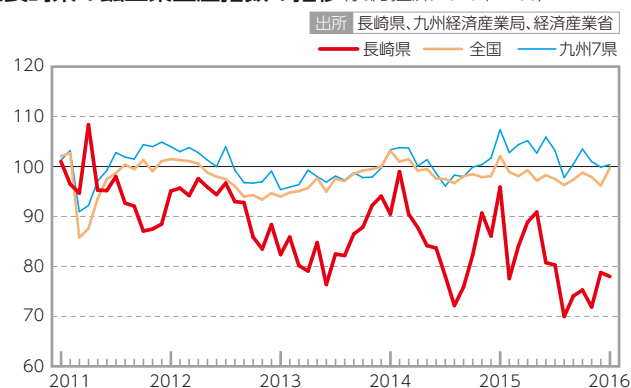
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は78.0と前月比1.0%低下しました。

主要業種では、修繕船の工事が減少した輸送機械が低下したものの、半導体集積回路が増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

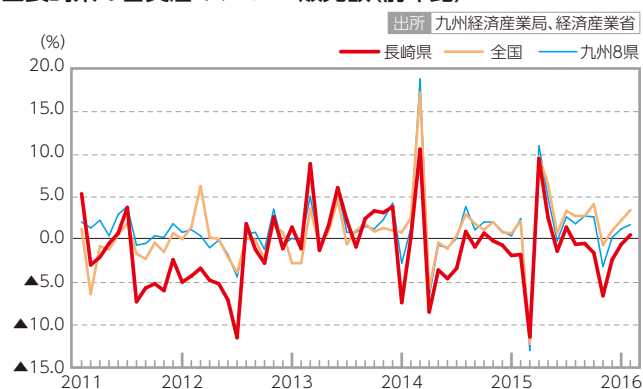


2.個人消費 | 底堅く推移している

2月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.4%増の82億円となりました。

気温の変化が大きかったために衣料品の動きが鈍かったものの、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■長崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





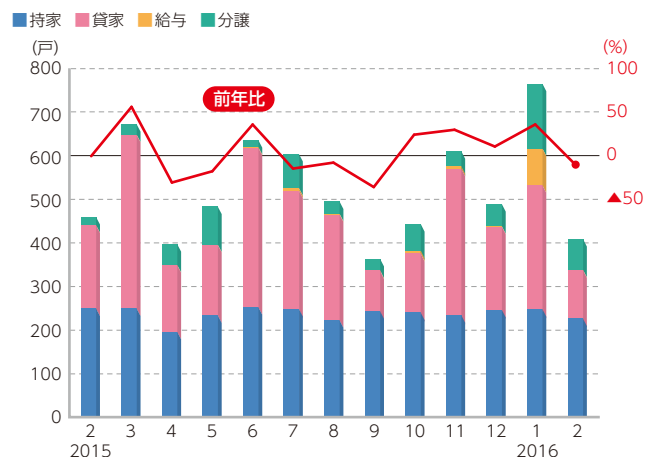
3.住宅建設 | 5ヵ月ぶりに前年を下回る

2月の新設住宅着工戸数は、前年同月比11.0%減の412戸となりました。

「分譲」が前年を上回ったものの、「持家」「貸家」が前年を下回り、全体でも5ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



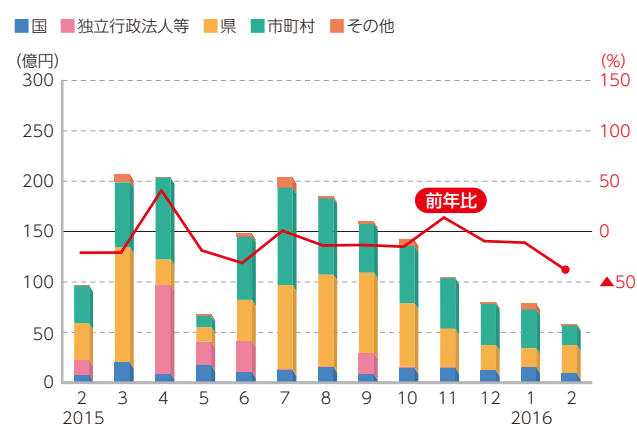
4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を下回る

2月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比3.1%減の251件、金額が同39.7%減の59億円となりました。

全体的に大型案件に乏しく、「独立行政法人等」「県」「市町村」が前年を下回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

3月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%減の2件、負債総額は同81.5%減の約4千万円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 底堅く推移している

佐賀県の景気は、底堅く推移しています。

住宅建設、公共工事が前年を下回った一方で、鉄塔等が増産となった金属製品が上昇する等、生産活動は底堅く推移しており、個人消費についても、主力の飲食料品が好調だった他、化粧品や宝飾品などの高額品も前年を上回る等、持ち直しの動きがみられます。

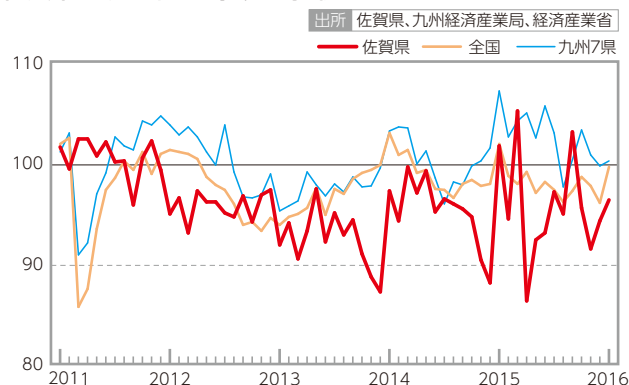
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は96.5と前月比2.2%上昇しました。

主要業種では、味付け海苔等の生産が減少した食料品は低下したものの、鉄塔等が増産となった金属製品が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

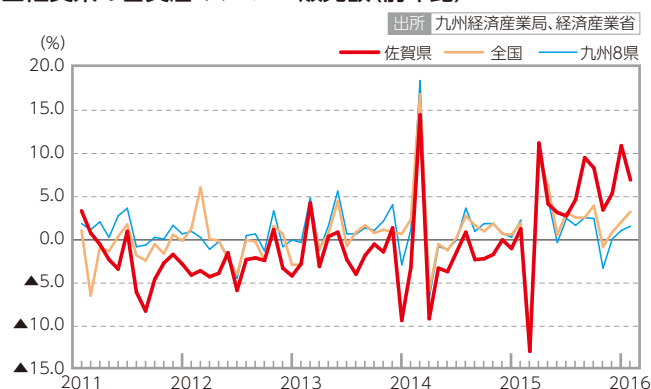


2.個人消費 | 持ち直しの動きがみられる

2月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比7.0%増の49億円となりました。

主力の飲食料品が好調だった他、化粧品や宝飾品等の高額品も前年を上回る等、個人消費は持ち直しの動きがみられます。

■佐賀県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





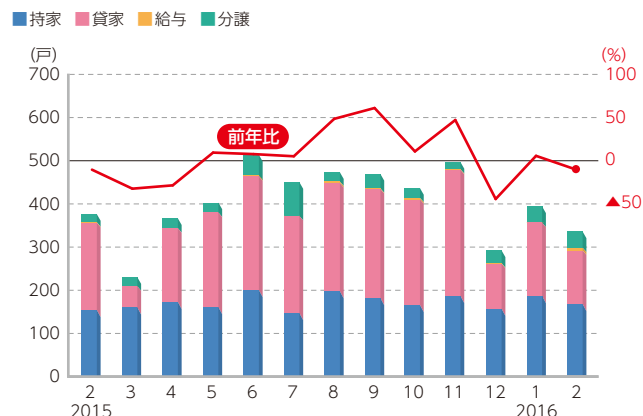
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

2月の新設住宅着工戸数は、前年同月比10.8%減の340戸となりました。

「持家」「分譲(戸建)」が前年を上回ったものの、「貸家」が前年を下回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



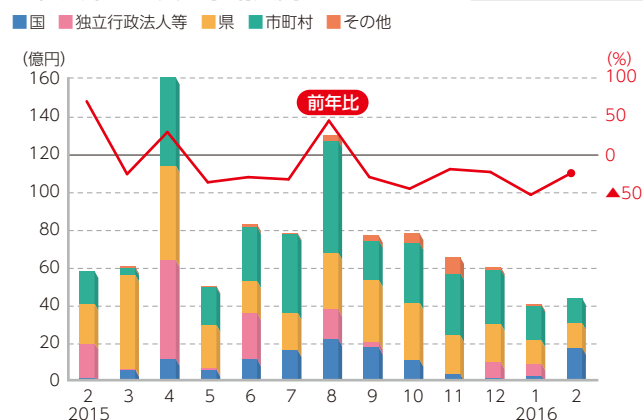
4.公共工事 | 6ヵ月連続で前年を下回る

2月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比12.7%減の151件、金額が同24.7%減の44億円となりました。

橋建設工事の大型発注があった「国」が前年を大きく上回りましたが、「独立行政法人等」「県」「市町村」が前年を下回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



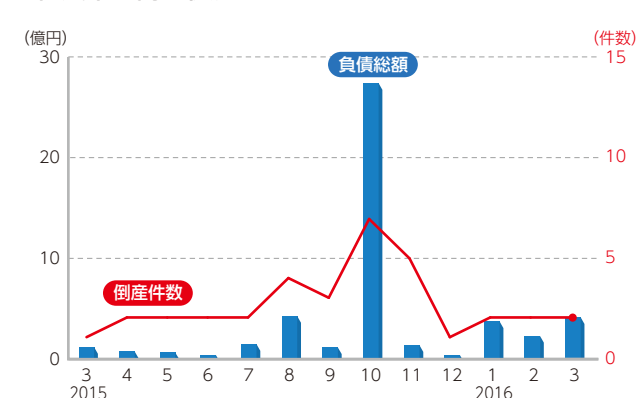
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに前年を上回る

3月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が2件、負債総額は約4億円となりました。

情報処理サービス業で3億円、陶磁器卸業で約1億円の倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 底堅く推移している

大分県の景気は、底堅く推移しています。

非鉄金属・金属製品が上昇する等、生産活動は底堅く推移しており、個人消費についても、主力の飲食料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。また住宅建設が2ヵ月連続で前年を下回った一方、公共工事は3ヵ月ぶりに前年を上回りました。

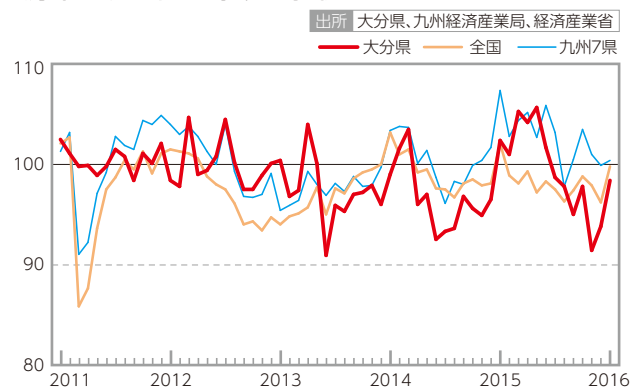
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は98.4と前月比4.9%上昇しました。

主要業種では、鋼板の生産が減少した鉄鋼は低下したものの、電気銅(電気精錬によって得られる高純度の銅)が増産となった非鉄金属・金属製品が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

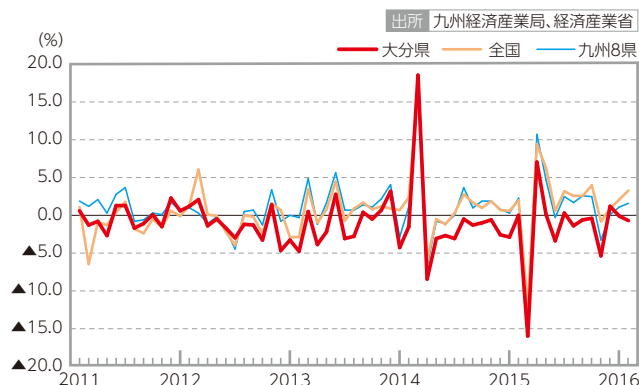


2.個人消費 | 底堅く推移している

2月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.7%減の82億円となりました。

気温の変化が大きかったために衣料品の動きが鈍かったものの、主力の飲食料品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■大分県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





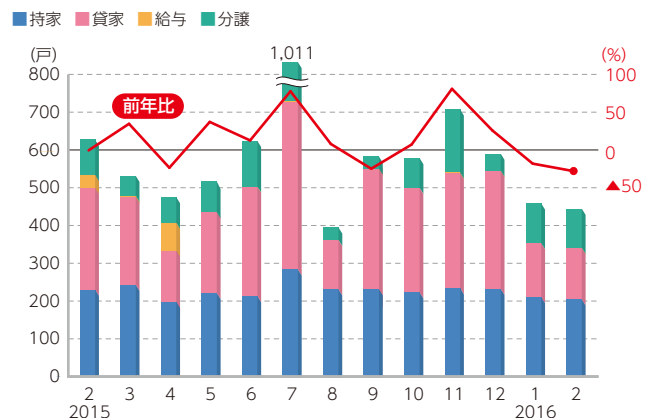
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を下回る

2月の新設住宅着工戸数は、前年同月比29.1%減の448戸となりました。

「分譲」が前年を上回ったものの、「持家」「貸家」が前年を下回り、全体でも2ヵ月連続で前年を下回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



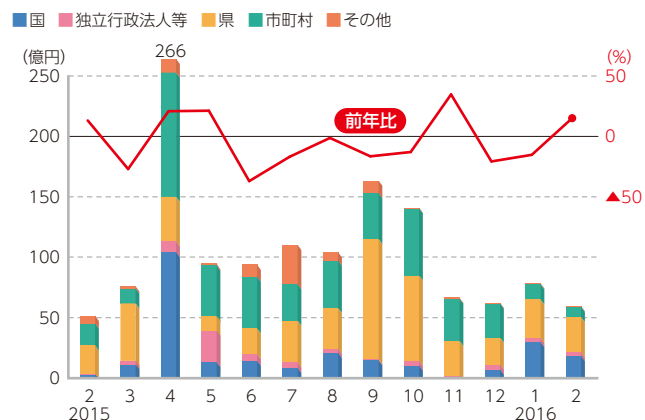
4.公共工事 | 3ヵ月ぶりに前年を上回る

2月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比11.6%減の199件、金額が同15.7%増の60億円となりました。

発注者別では、空港改良工事のあった「国」や、街路改良工事の大型案件があった「県」が前年を上回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



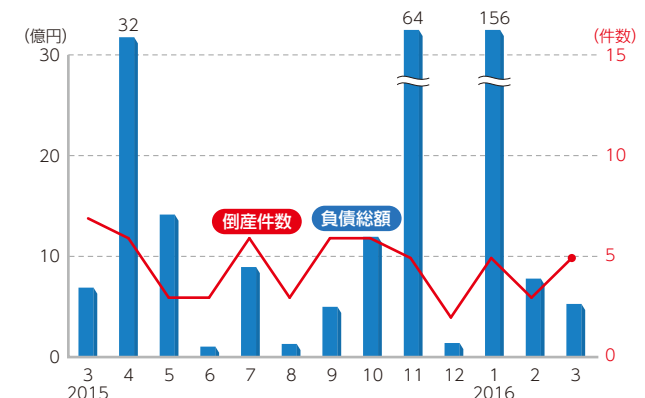
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに前年を下回る

3月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比28.6%減の5件、負債総額は同23.5%減の約5億円となりました。

土木工事業で約2億円、建設業で約1億円の倒産が発生しましたが、負債総額は前年を下回りました。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 底堅く推移している

宮崎県の景気は、底堅く推移しています。

はん用・生産用・業務用機械が上昇する等、生産活動は底堅く推移しており、個人消費についても、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。また住宅建設は2ヵ月ぶり、公共工事は2ヵ月連続で前年を上回りました。

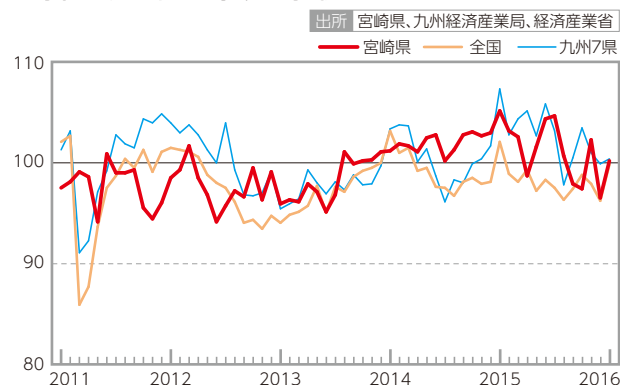
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は100.2と前月比3.8%上昇しました。

主要業種では、電気・情報通信機械その他は低下したものの、はん用・生産用・業務用機械が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■宮崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

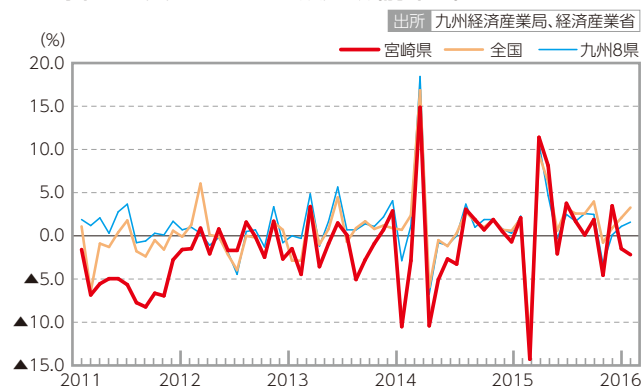


2.個人消費 | 底堅く推移している

2月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.2%減の52億円となりました。

気温の変化が大きかったために衣料品の動きが鈍かったものの、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■宮崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



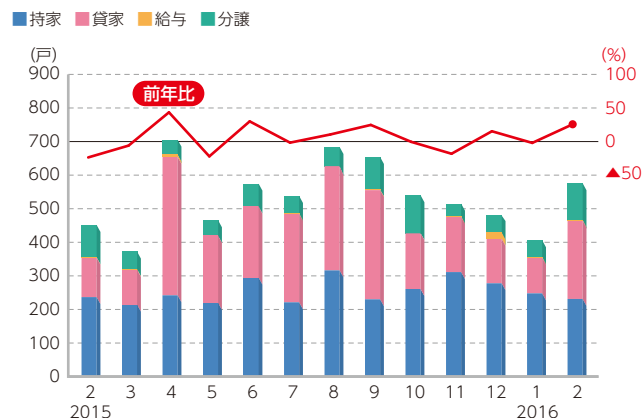
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

2月の新設住宅着工戸数は、前年同月比27.5%増の580戸となりました。

「持家」「分譲(戸建)」が前年を下回ったものの、「貸家」「分譲(マンション)」が前年を上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



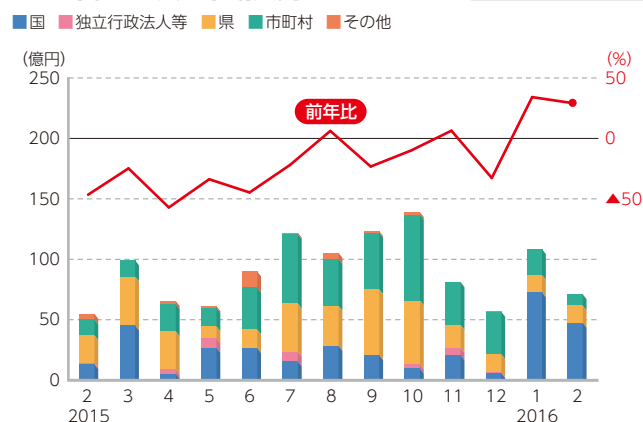
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を上回る

2月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比7.5%減の210件、金額が同29.9%増の72億円となりました。

発注者別では、トンネル新設工事の大型案件があった「国」が前年を大きく上回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

3月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同数の1件、負債総額は2億円となりました。

青果物卸売業で2億円の倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 底堅く推移している

鹿児島県の景気は、底堅く推移しています。

スマートフォン関連部品が増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、生産活動は底堅く推移しており、個人消費についても、主力の飲食料品が好調だった他、化粧品や宝飾品などの高額品も前年を上回る等、持ち直しの動きがみられます。また住宅建設は2ヵ月連続、公共工事は2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

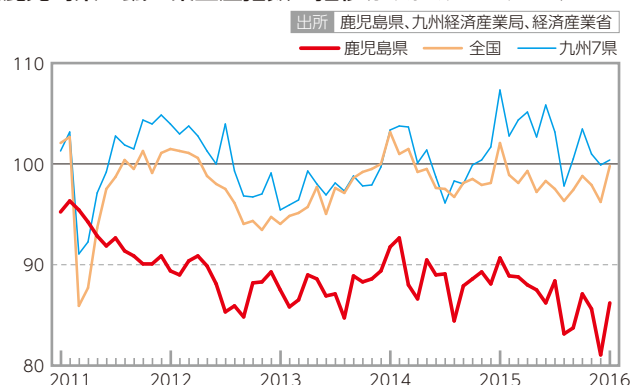
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は86.1と前月比6.4%上昇しました。

主要業種では、スマートフォン関連部品が増産となった電子部品・デバイスや、窯業・土石製品が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

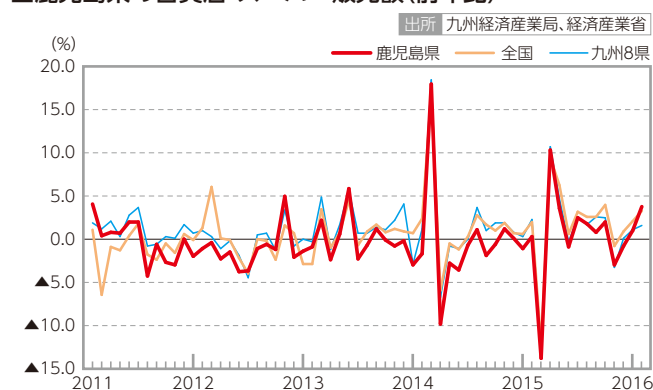


2.個人消費 | 持ち直しの動きがみられる

2月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比3.8%増の111億円となりました。

主力の飲食料品が好調だった他、化粧品や宝飾品などの高額品も前年を上回る等、個人消費は持ち直しの動きがみられます。

■鹿児島県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





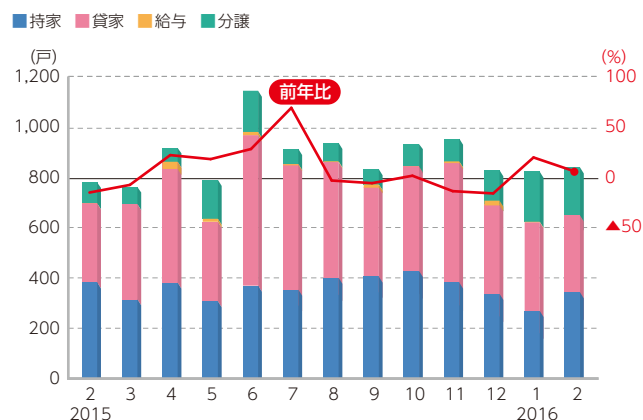
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を上回る

2月の新設住宅着工戸数は、前年同月比7.7%増の849戸となりました。

「持家」「貸家」が前年を下回ったものの、「分譲」が前年を上回り、全体でも2ヵ月連続で前年を上回りました。

■鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



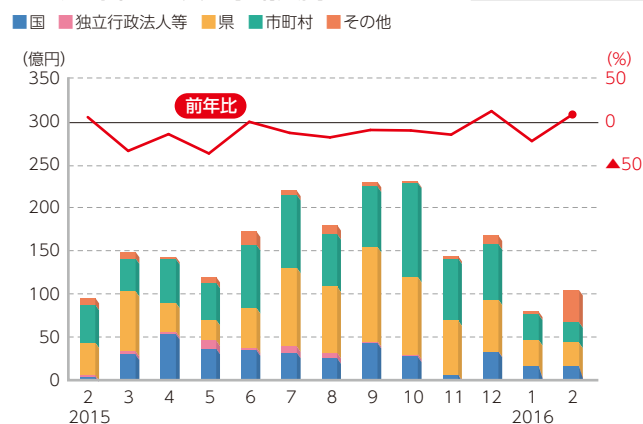
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

2月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比4.0%減の267件、金額が同9.7%増の106億円となりました。

発注者別では、排水設備改修工事のあった「国」と、郵便局新築工事の大型案件があった「その他公共的団体」が前年を上回りました。

■鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

3月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同数の6件、負債総額は約24億円となりました。

養殖業で22億円の大型倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

